

桂川っ子



地域の子は地域で

桂川町教育委員会

教育長 佐谷 千香子

殊のほか厳しかった今年の夏休み。子どもたちは元気に過ごし、いろんな事に挑戦して、無事に2学期を迎えました。夢を広げ、科学の目を伸ばし、日頃見せないようなすばらしい面をご家族の皆様に見せたのではないでしょうか？

例年行われている、7月23日から3日間のPTA主催「子育て地域懇談会」への御参加、有難う御座いました。

どの地区でも、子どもたちの健全育成に向けて、一生懸命のご様子、本当に子どもたちは幸せだと思えました。その中でも、保護者以外の方たちがたくさん参加して下さいている地区がありました。今日の社会を築き上げられた先輩の方々の温かいまなざし、本当に地域全体で子どもたちを見守って下さっていると感動でした。



▲ 平成20年度 桂川東小学校サマースクール
元氣よく朗唱をする子どもたちと城谷校長先生

大人が良い姿を見せる。モラルを守る。その中から子どもは知らず知らずのうちに良いものを学びます。
子どもは「大人を映す鏡」です。
「生き生き桂川っ子」の育成、よろしくお願いします。

サマースクール・イン・桂東

桂川東小学校校長 城谷 登志江

「夏休みの長期休暇を利用して、子どもたちの居場所となる活動の場を作り、様々なプログラムに取り組むことで、子どもたちの豊かな体験と自立を促し、明るく健やかな成長を支援すること」を目的に、8月4日(月)から9日(土)までの一週間、本校全児童を対象にしたサマースクールを実施しました。

受講者は、六十四名でした。町教育委員会社会教育課・けいせん「夢・人・未来塾」アンビシャス広場・社会福祉協議会・嘉徳総合高校の安藤先生や生徒さん、地域の方々からの全面的な支援を頂き、多様なプログラムを組むことができました。パソコン教室・料理教室・竹細工・工作・紙飛行機・ペタンク・手話等、平常の学校生活ではなかなか体験できない活動に挑戦させることができました。水泳や学習、朗唱にも毎日、取り組みました。これらの指導は、本校の教職員がしてくれました。また、あいさつや言葉づかい、整理整頓等の基本的な生活習慣についても厳しく指導を行いました。

体力をつけるためには「食」が大事です。そのため、昼食は、手作りの弁当を持たせて欲しいと少々の無理をお願いしました。保護者の皆様も理解してください、本当に愛情のこもったお弁当を作ってくださいました。

最終日には、子どもたちや関わってくださった方々と一緒にソーメン流しを楽しみました。驚くほど立派な竹は、武本義治様から提供していただきました。多くの方々の深い愛情に支えられた一週間でした。そして、子どもたちは、その愛情に見事に応えることができました。きちんとあいさつができ、整理整頓も上手にできました。竹の器やパソコンを使用したカレンダーも立派にできあがりしました。

11月22日(土)開催の本校創立五十年周年記念発表会で披露する朗唱も大きな声で言えるようになりました。『たかが一週間ではなく、されど一週間』であったと思います。

最後になりましたが、本事業を支援していただきました多くの皆様に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。